

目次

凡例

|           |   |
|-----------|---|
| 序 章 課題と方法 | 3 |
|-----------|---|

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 一 はじめに                | 3  |
| 二 戦前期都市社会政策の構造分析をめぐって | 6  |
| 三 不良住宅地区・被差別部落・在日朝鮮人  | 10 |
| 四 都市社会政策とマイノリティ       | 14 |
| 五 おわりに                | 15 |

第一部 都市社会行政の形成と展開

|                  |    |
|------------------|----|
| 第一章 都市社会行政機構の形成  | 25 |
| 一 はじめに           | 25 |
| 二 京都市社会事業行政機構の成立 | 27 |
| 三 京都市社会事業行政機構の成立 | 29 |

|   |              |    |
|---|--------------|----|
| 四 | 府・市社会事業行政の相克 | 32 |
| 五 | おわりに         | 42 |

## 第二章 府県社会行政と都市社会行政の関係構造

### ——財団法人京都共済会を事例に——

|   |                             |    |
|---|-----------------------------|----|
| 一 | はじめに                        | 47 |
| 二 | 京都府社会事業行政機構の形成と財団法人京都共済会の成立 | 50 |
| 三 | 京都府社会事業行政による社会事業施設の設置過程     | 54 |
| 四 | 京都府社会事業行政の政策形成をめぐって         | 60 |
| 五 | 大谷・海野辞職後の京都府社会事業行政の展開       | 65 |
| 六 | おわりに                        | 69 |

## 第三章 都市社会事業施設の運営と市政・地域社会

### ——京都市児童院を事例に——

|   |                    |     |
|---|--------------------|-----|
| 一 | はじめに               | 76  |
| 二 | 京都市児童院の組織・制度・運営    | 79  |
| 三 | 京都市児童院への社会的反応と「格差」 | 90  |
| 四 | 戦時体制下の児童院運営        | 97  |
| 五 | おわりに               | 103 |

|                             |     |
|-----------------------------|-----|
| 第四章 都市社会行政職員の役割・特質・機能       | 112 |
| 一 はじめに                      | 112 |
| 二 京都市社会課調査の開始               | 114 |
| 三 『京都市社会課調査報告』の発刊と情報発信      | 121 |
| 四 京都市社会課における社会調査体制          | 129 |
| 五 おわりに                      | 135 |
| 第五章 失業救済事業と市政・地域社会          | 142 |
| 一 はじめに                      | 142 |
| 二 「冬期失業救済事業」の開始と「登録労働者」     | 146 |
| 三 「冬期失業救済事業」期における「登録労働者」の実態 | 151 |
| 四 恒常的失業救済事業の成立と事業への批判       | 157 |
| 五 失業救済事業と「登録労働者」の騷擾         | 159 |
| 六 循環労働制の採用と「登録労働者」の動向       | 163 |
| 七 戦時体制と失業救済事業の廃止            | 166 |
| 八 おわりに                      | 169 |

## 第二部 都市社会政策と社会的マイノリティ

### 第六章 「不良住宅地区」と地域住民の変容……………179

一 はじめに……………179

二 京都市社会行政の地域認識……………181

三 一九二〇年代の「不良住宅地区」楽只地区……………187

四 一九三〇年代における楽只地区の変容過程……………190

五 朝鮮人非集住地区の変容過程——一九二〇～三〇年代……………192

六 在日朝鮮人「リーダー層」の成長と地域秩序への参入……………196

七 おわりに……………202

### 第七章 在日朝鮮人女性の自主的救済事業と「内鮮融和」……………207

——「親日派新女性」金朴春の思想と行動——

一 はじめに……………207

二 「京都朝鮮人労働共済会」と「朝鮮職業婦人救済会」の成立と展開……………210

三 大阪移住と「朝鮮職業婦人救済会」……………218

四 おわりに……………231

### 第八章 都市社会政策と「内鮮融和団体」の形成と変容……………244

|      |                    |     |
|------|--------------------|-----|
| 一    | はじめに               | 244 |
| 二    | 自主的救済団体の形成と展開      | 246 |
| 三    | 「京都協助会」の成立と崩壊      | 250 |
| 四    | おわりに               | 257 |
|      |                    |     |
| 第九章  | 都市社会政策の再編成と市政・地域社会 | 263 |
| 一    | はじめに               | 263 |
| 二    | 都市社会行政批判と社会事業運営の実態 | 266 |
| 三    | 崇仁隣保館の事業運営と地域社会    | 279 |
| 四    | 地域社会秩序の崩壊と再編       | 287 |
| 五    | おわりに               | 292 |
|      |                    |     |
| 第二〇章 | 不良住宅地区改良事業の形成と変質   | 300 |
| 一    | はじめに               | 300 |
| 二    | 「不良住宅地区改良法」の性格と特質  | 302 |
| 三    | 京都市における改良事業計画の展開   | 307 |
| 四    | 不良住宅地区改良事業の変質過程    | 314 |
| 五    | おわりに               | 320 |

|                             |     |
|-----------------------------|-----|
| 第二章 一九四〇～六〇年代の都市社会政策と地域住民組織 | 326 |
| 一 はじめに                      | 326 |
| 二 戦時体制期の都市社会政策              | 330 |
| 三 戦後都市社会政策体制の再構築            | 339 |
| 四 地域住民組織と部落解放運動             | 347 |
| 五 おわりに                      | 353 |
| 終章 総括と課題                    | 362 |
| 一 本書の要旨                     | 362 |
| 二 本書の意義と課題                  | 380 |
| あとがき                        |     |
| 索引                          |     |

# 近代日本の都市社会政策とマイノリティ

——歴史都市の社会史——

## 凡例

- 一、引用文以外の年代表記は、原則として西暦を用いた。
- 一、引用史料はカッコ書きで表記し、出典は註で示した。
- 一、引用文の表記は出典に拠ったが、明らかな誤記と誤植は訂正もしくは（ママ）を付した。
- 一、引用文中の旧字は新字に、略字と俗字および変体などがなどは通常の字体に改めた。
- 一、引用文のかなづかい、送りがなは原文通りとした。
- 一、引用文のルビは原則として省略した。
- 一、引用文は読みやすさを考慮して、必要に応じて、句読点の加除をおこなった。
- 一、『大阪朝日新聞』と『大阪毎日新聞』の京都地方版は年代によって、呼称が変化し、煩雑なので、『大阪朝日新聞京都版』、『大阪毎日新聞京都版』と表記を統一した。
- 一、史料名や本文からの引用の際、現在からみて、差別的で不適切な用語を使用しているが、原文の表記・内容とその歴史的意味の復元を優先し、あえて原文のままとした。

## 序 章 課題と方法

翻って我が国の過去の歴史的記録労作を顧みると、殆ど全てが自慢史ばかりである。……真の成功は失敗を素直にかつ科学的に究明したうえに築かるべきものであらう。

洪沢敬三「失敗史は書けぬものか」(一九五三年)

### 一 はじめに

現在の日本社会は貧困と格差が蔓延している。それについて、日本の社会政策・社会福祉・社会保障は新たな対応を模索しつつけているのが現状であろう。本書は、近代日本の社会政策／社会福祉の受益者たる社会的マイノリティがどのように政策形成に関与しようとしたのか、あるいは政策に包摂されていたのかを実証研究によって明らかにし、政策の受益者の動向から再構成した社会政策史／社会福祉史研究を提示することで、現在の社会政策／社会福祉にインパクトを与えることを企図している。

本書の主題は、今日の人文・社会科学に関連する諸学会が、東日本大震災以降の状況にどのように向き合うかということのみずから問うている状況と強く共鳴している。歴史的なアプローチによる実証研究を提示することが、切実な問いをともにする学会状況に対しての一つの貢献になると考えている。本書をいま・ここに問うておきたい。

日本近代都市史研究は、周知の通り一九八〇年代に研究分野として自立した。それは、原田敬一<sup>(1)</sup>、横井敏郎<sup>(2)</sup>、成田龍一<sup>(3)</sup>、水内俊雄<sup>(4)</sup>、芝村篤樹<sup>(5)</sup>、大石嘉一郎・金澤史男<sup>(6)</sup>など多くの研究史整理論文が明らかにするところである

が、それにともない、「都市下層社会」研究も多大な成果をあげている。一九一〇年代以降日本の近代都市では、貧困者層の集住地区である都市スラムや被差別部落に、植民地朝鮮から朝鮮人が、そのほか沖縄本島を中心とする南西諸島地域から移住する人々が流入、あるいは新たな集住地区を形成して、複合的な「都市下層社会」が成立する。それらの「社会問題」と認識された階層の人々を対象に想定し、都市社会政策が積極的におこなわれた。「都市下層社会」と都市社会政策の研究によって、近代都市もまた「差別と排除の共同体」であり、衛生問題や都市問題への対応の過程で新しい社会的差別が創出されていく事実が明らかにされているといえよう。

本章では「都市下層社会」研究のうち、特に近現代日本都市社会政策と社会的マイノリティ<sup>(10)</sup>に関わる研究を対象に成果と課題を論じること、本書の分析視角を提示したい。

研究視角としては、これまで被差別部落史や在日朝鮮人史、あるいは、社会政策史／社会福祉史研究の「分野史」ごとにおこなわれてきた研究動向を打破するため、先に指摘しておいた複合的な「都市下層社会」やマイノリティに対する政策的対応を統一した視点で論じる必要性を提起する。近代「部落史」研究や在日朝鮮人史研究は、社会的差別の歴史的 연구の中でも多くの研究成果をあげてきた。「貧困層」や「労働者」を対象とした社会政策史／社会福祉史研究も重厚な蓄積を有している。しかし、これらの「都市下層社会」やマイノリティの形成と構造をめぐる力学は互いに複雑に絡み合っており、より大きな枠組みの中で実証研究を進めなければ研究の発展もないのである。

これまでの研究動向では、一九一〇年代以降に推進された都市社会政策において、あらゆるマイノリティの問題が「都市問題」「社会問題」という枠組みの中で論じられてきたということが等閑視されてきた。そこで都市社会行政の立場から都市社会に関するさまざまな問題を俯瞰することで、視点の統一をはかり、複合的にとらえなおさなければならないだろう。

## あとがき

本書を編むのも一つの長い旅であった。私は卒業論文から京都をフィールドとして都市社会政策／社会福祉史研究をおこなってきた。本書の素材となった論攷も一九九八年から二〇一四年に及んでいる。自分でも成果の貧しさには驚くばかりである。

初出は以下のとおりである。

序 章 「日本近代都市社会政策と「下層社会」研究の再構成——不良住宅地区・被差別部落・在日朝鮮人

——」（京都民科歴史部会『新しい歴史学のために』二五六号、二〇〇五年一月）。

## 第一部 都市社会行政の形成と展開

第一章 「日本近代都市社会事業行政の成立——京都市社会課を中心として——」（大阪大学文学会『待兼山論

叢』史学編三七号、二〇〇三年十二月）。

第二章 「府県社会事業行政における都市社会事業の構造と展開——京都府・京都市社会事業行政と財団法

人京都共済会の関係構造をめぐって——」（世界人権問題研究センター『研究紀要』一〇号、二〇〇五年

三月)。

第三章 「一九二〇—三〇年代の都市社会事業運営と市政——京都市児童院をめぐる「格差」と都市社会

——」(京都民科歴史部会『新しい歴史学のために』二六四号、二〇〇七年四月)。

第四章 「戦前期都市社会調査における調査活動と社会事業行政職員——京都市社会課調査を事例に——」

(法政大学大原社会問題研究所『大原社会問題研究所雑誌』五九一号、二〇〇八年二月)。

第五章 「一九二〇—三〇年代の失業救済事業の地域的展開と「登録労働者」——京都市失業救済事業を事

例に——」(近現代史研究会『年報近現代史研究』四号、二〇一二年三月)。

## 第二部 都市社会政策と社会的マイノリティ

第六章 「戦前期「不良住宅地区」の変容過程——不良住宅地区・被差別部落・在日朝鮮人——」(部落解

放・人権研究所『部落解放研究』一三六号・一三七号、二〇〇〇年一〇・一二月)。

## 第七章 新稿

第八章 「戦前期都市社会政策と内鮮融和団体の形成と崩壊——京都市における内鮮融和団体を事例として

——」(歴史科学協議会『歴史評論』七二二号、二〇〇九年八月)。

第九章 「都市社会政策の再編成と市政・地域社会——一九二〇—三〇年代の京都市崇仁学区における社会事業運営を中心に——」（同志社大学人文科学研究所『社会科学』四三卷三号、二〇一三年十一月）。

第一〇章 「戦前期都市社会政策の形成過程——京都市不良住宅地区改良事業計画を中心に——」（部落問題研究所『部落問題研究』一四五輯、一九九八年二月）。

第十一章 「一九四〇—六〇年代の都市社会政策と地域住民組織——京都市社会行政と「不良住宅地区」対策をめぐって——」（歴史学研究会『歴史学研究』八二四号、二〇〇七年二月）。

## 終章 新稿

いずれも大幅な加筆修正をおこなっている。本書は二〇一五年二月現在の私の見解であるので、今後は本書の内容を参照されるようお願いしたい。

幼少の頃から、演劇と詩と文学、そして歴史に強く興味をもっていた私は、一年中、演劇、詩、文学、歴史にとりくみつつ、学校の文化祭全体の裏方稼業にあけくれるという日々を送っていた。私はとにかく「何か」を無性に創りたかったのだった。そんな私が学校の勉強に興味をもつはずもなく、他に大学でやりたいこともないという全くの消去法で歴史学を専攻することとした。なんと当時はテレビや小説にもろに影響を受け、シルクロードの考古学をやりたいのだから、本書の内容との違いに自分でも驚かされる。

一九九四年四月に進学した大学では、これまた勉強はせず、あいかわらず自分の衝動に忠実に、学園祭や展示即売会などの裏方稼業に明けくれていた。そのかたわら、郷里の広島県ではほとんど存在しなかったため、長年憧れていた小演劇や詩の朗読会などにできる限り通いつめ、自分なりに充実した日々を過ごしていた。

やっと学問への興味が芽生えるのは、大学二回生の春である。私は当時、シルクロードから大きく方向転換し、宮本常一などを代表とする民俗誌やシカゴ社会学のモノグラフに魅了されていた。そして、私は無性に「ワールドワーク」なるものをやりたくてたまらなくなり、友人とともに民俗学研究会に入会した。私の期待通り、研究会では長期にわたる合同合宿調査を定期的に行っており、フィールドワークや聞き取りの作法をおおいに学ぶことができた。研究会にはさまざまな興味関心を持った人々がいた。そこでどうやら、自分は民俗学には興味がほとんどないということに気づいてしまった。私は「近代社会」そのものの歴史と構造に興味を持っていたのである。そこで、再び方向転換し、日本近現代史を専門とすることとなった。

なぜ、私が本書のような研究テーマを選んだのかは、すでに書いたことがある。その葛藤については、拙稿「近代日本社会と差別をめぐる研究動向」（『部落問題研究』一五八輯、二〇〇一年）を参照してほしい。私は卒業論文で明治前期の芸能興行をやるうか、戦前期の都市社会政策で書くうか迷っていた。芸能興行は私自身が演劇をかじっていたということで大変関心があった。都市社会政策というテーマは大学のサークルでの村落調査を通じて、調査自体のおもしろさに魅了されており、社会調査を使つての研究にも興味があつたため、どちらにしようか悩んでいた。結局その時は社会問題的な関心が勝つて、都市社会政策をテーマにすると決めた。私は近現代芸能史の研究者になる可能性もあつた。だが、近代都市社会政策／社会福祉史研究をテーマとする研究者となることを選択したのである。

本書を刊行するまでの間、多くの方々にお世話になった。

まず、原田敬一先生の存在が大きい。先生はまったく私を自由に研究させてくださった。先生から研究テーマや内容、どの学会・研究会に入垣するかなどについて、制約を受けたことはただ一度もない。また、座談の名手である先生にはいろいろなことを教えていただいた。その中で最も強調されたことは、自分だけのオリジナルな研究テーマを見つけ、追求し、「師匠殺し」をせよと言うことであつた。近代都市史研究や軍隊の社会史のバイオニアである先生の背中を見つつ、私なりのオリジナルな研究テーマでの「師匠殺し」を目指してきたつもりである。本書についても、先生が『日本近代都市史研究』を出版された思文閣出版に紹介してくださつた。

猪飼隆明先生には、大学院演習で鍛えられた。演習は、明治前期の史料を精読にもとづき、史料の一語、一語からできるだけ情報を引き出し、さまざまな史料と比較検討しつつ、議論するというものだった。議論は時に三時間を超えることもあり、大変勉強になった。ゼミの後、ほぼ毎回開かれた先生との酒席での議論や座談も含蓄深く、楽しみであつた。現在、一九世紀を対象とする社会政策／社会福祉史研究を開始している私の血となり肉となつていゝことを実感している。猪飼先生も、まったく自由に研究をさせていただいた。先生は懐が非常に深く、さまざまなタイプの学生・院生が先生のもとでいきいきと活動していた。それをあたたかく見守る先生の姿が忘れられない。私は学生・院生の自主性を重んじる両先生のもとで学ぶことができ、大変幸せであつた。

飯塚一幸先生には、猪飼先生の御退職後、いまだ博士論文を出せていなかった私にご配慮いただき、博士論文の審査をお引き受けいただいた。副査は平雅行・村田路人の両先生にいただいた。その後、飯塚先生はお会いするたびに、博士論文を著書にすることを求めてくださった。先生の叱咤激励に応え、博士論文を大幅に増補したうえ、加筆修正して、仕上がったのが本書である。

須崎愼一先生には、その名人芸というべき講義や史料講読で、私が日本現代史を学ぼうとするきっかけを作つていただいた。講義では『信州郷軍』や「森本州平日記」との出会い、古思了氏との邂逅など、後に『日本フ

シズムとその時代』(大月書店、一九九八年)にまとめられる内容を話されていた。そこでは様々な人や史料との出会いがドラマチックに語られ、地道な史料調査やフィールドワーク・ヒアリング調査こそが新しい歴史像を構築しようという熱気が生来愚鈍な私にも強く伝わった。たちまち魅了され、すでに単位を取得して、それ以上とつても卒業単位にもならないのに、先生の開講されている授業を毎年、全部履修した。史料購読は「古家実三日記」であり、なれない崩し字に四苦八苦したことも昨日のこのように思い出される。

青山忠正先生には、その切れ味するどい論理から繰り出される講義や史料講読に圧倒させられた。また、政治家が所蔵していた書簡集の史料集編纂にご一緒させていただいたことがあるが、その史料読解力の凄まじさには、ご一緒されていた佐々木克先生の史料読解力ともども驚嘆させられた。先生の講義や著作のシャープさに及ぶべくもないが、本書が少しでも先生の著作に近づいていることを願っている。

八木透先生には、民俗学研究会の顧問としてお世話になった。私は史料の徹底した収集と精読、そして比較検討による文献史学の実証力を信頼している。しかし、先生は文献史料だけでは、決してわからないことが数多くあるということを教えてくださった。私が、文献史料の徹底した収集や精読・比較検討とともに、地図をもつてのフィールドワークや関係者のヒアリング調査を同時並行でおこなうようになったのは、先生のおかげである。それによって、多くの基礎的な誤りや勘違いを修正することができ、文献史料の解釈もより深めることができた。

本書の史料については、第三章は平野貴子、第七章、第八章は塚崎昌之、高野昭雄、水野直樹、宮本正明のみなさんに史料や研究のご教示、ご提供をいただいた。また、本書の歴史叙述が可能となったのは、部落問題関係史料が豊富に発掘され、研究目的なら誰でも利用が可能な環境と実証的な多くの研究蓄積のある稀有な地域である京都をフィールドとしたことによる。京都地域においては部落問題研究所・京都部落問題研究資料センター(旧京都部落史研究所)の長年の研究・史料調査活動の成果である史料が整理され、学術研究目的ならば大半の史

料が閲覧・利用できる環境にある。したがって、京都地域における近現代「部落史」研究は、現在の所、ほとんど原史料にあたって検証することができる。他の研究分野ではごくあたりまえのことだが、近現代「部落史」研究においては、稀有な史料利用・研究環境がなければ、本書は生まれえなかった。ヒアリング調査に協力していただいた方々にもお礼申し上げたい。あまりにも数多いため、遺漏を恐れ、お名前をあげることが控えさせていただくが、みなさんのご協力がなければ、本書は多くの誤りをおかしていただろう。そして、全国各地の二三か所の史料保存・公開機関、図書館のみなさんのおかげで、本書は成りたっている。

また、自治体史編纂室や資料館・博物館などでの調査経験なしに本書は編めていない。私は学部三回生から、民俗調査、金石文調査、古文書調査、社会調査や本の編集にいたるまで、さまざまな調査に携わることができた。私の大学院の進学資金や現在にいたるまでの日常生活は、まったくこれらの調査でいただく賃金でまかなわれている。まさに私の研究生活の根幹であった。合宿調査なども含めれば、一二次所もの自治体史編纂室、博物館・資料館・研究機関などでお世話になった。そして、中世から現在におよぶ多様な史料を調査することができ、視野が飛躍的に広がった。これらの調査を通じて、歴史学研究者としてのものとも大事な基礎的な力を養うことができた。その中で反面教師も含めて、史料の保存や公開、地域史に関わる研究倫理などを学ぶこともできた。これらの調査に携わることができたことは、私にとって大きな財産である。

大学・短大の非常勤講師をご紹介いただき、教える機会を与えていただいたのもありがたかった。伊藤悦子さんには京都工芸繊維大学工芸科学部、原田敬一先生には佛教大学社会福祉学部・社会学部・通信教育部、加藤博史さんには龍谷大学短期大学部、田中聡さんには立命館大学経済学部の非常勤講師をお世話いただいた。わたしの拙い講義を聴いていただき、さまざまな感想や疑問を寄せてくれる学生さんたちにもお礼を申し上げる。特に京都工芸繊維大学工芸科学部と佛教大学社会福祉学部・社会学部ではフィールドワークも行うことができ、毎

回、新鮮な気持ちで臨んでいる。

秋定嘉和さん、庄司俊作さん、田中聡さんには、共同研究にお誘いいただき、さまざまな経験や発表機会をいただいた。

学会・研究会などでは出身大学・年齢を問わず多くの研究仲間・友人ができ、大変刺激になった。これまで、部落問題研究所歴史部会、大阪歴史学会近代史部会、世界人権問題研究センター第二部近現代班、同第三部、日本史研究会近現代史部会、歴史学研究会近代史部会、大阪歴史科学協議会帝国主義研究部会、京都民科歴史部会、部落解放・人権研究所、朝鮮史研究会関西部会、社会事業史学会、在日朝鮮人運動史研究会関西部会、近現代史研究会、関西社会事業思想史研究会、東海ジェンダー研究所、同志社大学人文科学研究所、佛教大学総合研究所、立命館大学人文科学研究所などの学会、研究会、研究機関で報告させていただき、ご助言やご批判をいただくことができた。そして、手弁当で続けてきたいくつかのささやかな研究会・読書会を共に運営してくれている仲間たちにもお礼を言いたい。

また、日本史研究会・京都民科歴史部会の委員を合計八年間つとめたことは、研究の視野を広げ、多くの友人をえることができた。このような学会・研究会・研究機関の共同研究の場でお世話になった方々はあまりに多いので、遺漏を恐れて、お名前を記すことは控えたい。ただし、本書の出版は、すでに単著のある河西秀哉、櫻澤誠、富永望、福家崇洋、安岡健一のみなさんのアドバイスやご助力がなければ不可能であった。

大学・大学院を通じて、多くの先輩・同級生・後輩のお世話になった。これも、あまりに数が多すぎるので、遺漏を恐れて、お名前を記すことは控えたい。ただ、お一人だけ、お名前をあげさせていただきたいのは、松延眞介さんである。現在、司法書士として活躍されている松延さんには、多くのことを教えていただいた。私は先生に大変恵まれていた。しかし、やはり大学や大学院の力量は学生や院生の力によるところが非常に大きい。松

延さんにさまざまな基礎的な研究の手ほどきや私の幼稚な議論の相手をしていただければ、私はとても研究者にはなれなかったろう。また洒落な人柄で多くの人脈を築いていた松延さんとともに、多くの学会・研究会に参加させていただくことで、私はなんとか鍛えられ、研究を続けることができた。自分も誰かにとっての松延さんのような存在でありたいとつねに願っている。

本書の校正や索引作成などは、青谷美羽、佐々木拓哉、成島友美のみなさんにお手伝いいただいた。本書がかなり読みやすくなり、かつ誤りが少なくなったのは、お三方のおかげである。面倒な仕事をお引き受けいただいたご厚情に感謝したい。当然、本書に関するすべての責任は私にある。カバー写真については、平野貴子さんにご助力をいただいた。

思文閣出版の原宏一さん、三浦泰保さんには大変心配をおかけした。本書が出版されるのも、お二人の絶妙な督促と導きのおかげである。特に本書を直接担当された三浦さんの厳密な編集によって、完成度を高めていただいた。

このように、一人一人のお名前を思い出していると、数えきれない方々の名前があがってしまう。本書は私の作品でもあるが、私の研究にご助力いただいた方々なしでは成り立ちえないことが実感できる。

本書は、科学研究費補助金（特別研究員奨励費）「日本近代都市における社会的差別形成過程とその政策的対応に関する研究」、科学研究費補助金（若手研究B）「一九四〇—七〇年代の失業対策事業と失対労働者に関する基礎的研究」の研究成果の一部である。

なお、本書の出版にあたっては、平成二六年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）による助成をうけた。今後は、研究を続けることが許されるなら、本書への批判に応えつつ、第一に一九世紀、そして戦後から現在にいたる社会政策／社会福祉史研究に、今後でも取り組んでいきたい。第二に私にとって最も重要な研究テーマの

一つである近代天皇制と社会政策／社会福祉史研究にもチャレンジしたい。第三に近現代日本における演劇と社会の関係についての研究にも着手したい。

最後に、家族や親族、そして、京都のさまざまな場所とともにあゆんでくれたあなたへの謝辞は、含羞のため、直接申しのべることを読者諸賢にお許しいただきたい。

二〇一五年一月 逃現郷にて、ルフナとともに

杉本弘幸

# 索引

## 【事項】

### あ

|             |                         |
|-------------|-------------------------|
| 愛育会         | 82                      |
| 愛育研究所       | 82                      |
| 愛国婦人会       | 218                     |
| 愛隣会         | 231                     |
| 朝日新聞社会事業団   | 286                     |
| 衛生組合        | 289                     |
| 大阪朝日新聞社     | 232, 371                |
| 大阪基督教女子青年会館 | 218                     |
| 大阪市民民館      | 226, 372                |
| 大阪市社会部      | 7, 39, 42, 112, 129     |
| 大阪朝鮮基督教会    | 227                     |
| 大阪朝鮮労働者同盟会  | 230                     |
| 大阪府社会事業協会   | 134                     |
| 大阪婦人ホーム     | 217, 219, 228           |
| 大阪佛教和衷会     | 227                     |
| 大阪府内鮮協和会    | 234, 245, 373           |
| 大阪毎日新聞慈善団   | 222, 223, 226, 233, 371 |
| 大谷大学        | 248                     |
| オールロマンス行政闘争 | 347, 349, 350, 354, 379 |
| オールロマンス事件   | 349                     |

### か

|       |                                                                                   |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| カード階級 | 39, 90, 94, 158, 167, 285                                                         |
| 改良法   | →不良住宅地区改良法                                                                        |
| 家事見習所 | 26, 35, 290, 293, 376                                                             |
| 下層社会  | →都市下層社会                                                                           |
| 学区    | 5, 6, 27, 42, 52, 55, 164, 185, 197, 199, 200, 265, 266, 279, 288, 291 ~ 293, 362 |
| 学区会議員 | 197, 199~202, 265, 276, 287, 291, 293, 370, 376                                   |

|           |                                                                                                                  |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 神奈川県内鮮協会  | 245                                                                                                              |
| 簡易食堂      | 29, 35, 52                                                                                                       |
| 看護婦       | 86, 104                                                                                                          |
| 関西朝鮮労進会   | 227                                                                                                              |
| 関西婦人連合会   | 217                                                                                                              |
| 救護法       | 49, 77, 81, 94, 104, 134, 197, 264, 283, 285, 286                                                                |
| 救済係       | 28, 29, 54, 114                                                                                                  |
| 救済事業調査会   | 302                                                                                                              |
| 共済会       | →京都共済会                                                                                                           |
| 共済会住宅     | 69                                                                                                               |
| 協助会館      | 252~256, 258, 374                                                                                                |
| 共同宿泊所     | 28                                                                                                               |
| 京都共済会     | 47~50, 53, 54, 56, 58~60, 65~67, 69, 70, 71, 363, 364                                                            |
| 京都協助会     | 246, 250~258, 374                                                                                                |
| 京都向上会     | 244                                                                                                              |
| 京都国際親和会   | 217                                                                                                              |
| 京都市衛生課    | 253                                                                                                              |
| 京都市会      | 35, 92, 97, 98, 147, 150, 157~159, 170, 267, 281, 380, 381                                                       |
| 京都市会議員    | 6, 92, 96, 97, 99, 104, 150, 157, 158, 161, 162, 199, 200, 251, 257, 267, 273, 274, 276, 281, 287, 292, 366, 376 |
| 京都市救済係    | 28, 29                                                                                                           |
| 京都市厚生報国会  | 291, 293, 300, 328, 329, 334~340, 343, 346, 348, 353, 376, 378                                                   |
| 京都市厚生報国連盟 | 300~302, 319, 320, 328, 332, 334, 347                                                                            |
| 京都市産婆会    | 104, 365                                                                                                         |
| 京都市産婆組合   | 30, 31, 54, 90, 92, 96                                                                                           |
| 京都市自治会連合会 | 293, 343, 376                                                                                                    |
| 京都市自治連合会  | 329                                                                                                              |
| 京都市児童院    | 76, 78, 80~82, 84~88, 90, 92, 94, 96~105, 265, 365, 366                                                          |

『京都市事務報告書』 118, 125, 126  
 京都市社会課 26, 27, 29, 32, 34, 35, 39,  
 41, 42, 54, 79, 80, 82, 87, 96, 100,  
 112~115, 118, 120, 121, 126~129,  
 132, 134, 136, 149, 150, 158, 159, 161,  
 165~167, 184, 249, 256, 273, 275,  
 300, 301, 308, 309, 311, 316, 317, 319,  
 332~334, 336, 338, 366, 367, 377  
 『京都市社会課季報』 121, 125  
 『京都市社会課調査報告』 26, 42, 112,  
 114, 115, 120, 121, 127, 131, 135, 363  
 京都市社会事業行政 25, 32, 42, 47,  
 50, 54, 55, 61, 69, 71, 76, 78, 362, 363,  
 365, 375, 378, 382  
 京都市助産婦組合 96  
 京都市設託児所規程 273, 274  
 京都市不良住宅地区改良事業計画  
 300, 339, 377  
 京都市民共済会 86  
 京都市民生局 328, 339, 340, 342  
 京都市労働紹介所 164  
 京都製靴 329  
 京都朝鮮人協助会 245, 246, 248~251, 257  
 京都朝鮮人連合会 257  
 京都朝鮮人労働共済会 209~214, 223~  
 226, 232, 233, 245~249, 251, 257,  
 258, 370~372, 374  
 京都朝鮮幼稚園 244  
 京都朝鮮労働組合 201  
 京都帝国工科大学 252  
 京都帝国大学 78, 86, 98, 102, 103, 113,  
 114, 129, 134, 136, 210~212, 228,  
 232, 246, 257, 365, 367, 370, 374  
 京都帝国大学医学部 78, 79, 81, 82, 88, 119  
 京都帝国大学基督教青年会館 210, 211  
 京都博愛倶楽部 279  
 京都府会 62  
 京都府協和会  
 167~169, 200, 201, 257, 258, 368, 374  
 京都府警 374  
 京都府公同委員制度  
 28, 30~32, 42, 48, 50, 54, 60, 62, 362, 364  
 京都府社会課 27, 29~32, 39, 41, 50,

55, 58~60, 62~66, 68~71, 90, 158,  
 166, 214, 249, 250, 364  
 京都府社会事業行政 27, 48, 50, 54, 58  
 ~60, 62, 65, 66, 68~71, 362~365  
 京都府親和会 315, 316, 334, 335, 349, 350  
 京都府水平社 315  
 京都府方面委員制度 41, 64  
 京都府融和団体連合会 334  
 京都部落問題研究資料センター 328  
 京都府立医学専門学校 210, 212  
 京都府連  
 →部落解放全国委員会京都府連合会  
 京都労働総同盟 161  
 協和会 12  
 基督教女子青年会 215~218, 232  
 基督教女子青年会館 222, 233  
 基督教青年会館 211, 219  
 基督教婦人矯風会 219, 228  
 キリスト者 208, 209, 211, 215, 216,  
 219, 221, 222, 232, 246  
 金融恐慌 368  
 錦林地区 183, 196, 315, 316  
 錦林隣保館 339, 342, 345  
 クライアント 369, 377  
 軍事援護事業 100, 382  
 軍需産業 166~170, 332, 368, 369  
 慶福会 252, 254, 255, 291  
 憲政会 11  
 公益質屋 56, 69  
 甲号要視察人 210, 212, 232, 246  
 厚生委員 333, 335  
 厚生省 317, 318, 338  
 厚生報国会 →京都市厚生報国会  
 厚生報国連盟 →京都市厚生報国連盟  
 公設市場 7, 9, 34, 35, 39, 49, 50, 77, 264, 331  
 公設浴場 26, 58, 59, 69, 70  
 交替労働制 157, 163  
 公同委員 30, 31, 42, 50  
 公同委員制度 →京都府公同委員制度  
 公同組合 30, 31, 251, 288, 293, 333, 334  
 公同主事 30, 31, 35, 58, 64  
 国民研究会 267, 276, 287, 288, 331  
 国民同盟 287

米騒動 7, 10, 25, 26, 28, 48, 50, 52, 58,  
76, 79, 112, 142, 263, 381

## さ

済生会 30, 32, 54, 55, 68  
財団法人京都共済会 →京都共済会  
在日朝鮮人 5, 6, 10～12, 15, 16, 121, 135,  
143, 144, 149, 151, 153, 156, 161, 166,  
168, 169, 179～181, 184, 185, 187,  
190, 191, 196, 197, 199, 200, 202, 203,  
207～209, 214, 215, 218, 225, 226,  
228, 230, 231, 233, 234, 244, 246, 249,  
250, 252, 257, 287, 329, 331, 367～  
370, 372, 373, 380～382

在日本朝鮮基督教会 209  
在日本朝鮮労働総同盟 201  
『細民集団地区調査』 303  
三条託児所 32, 58  
三条地区 181, 183, 187, 192～194, 196,  
197, 202, 369, 370

産婦人科 78, 82, 84, 100～102, 105, 366  
市営社会事業施設 340  
市営住宅

28, 34, 35, 39, 69, 119, 127, 222, 223, 288  
ジェンダー 381

市会 →京都市会  
市会議員 →京都市会議員  
事業計画 →不良住宅地区改良事業計画  
市社会課 →京都市社会課  
七・七禁令 166

七条職業紹介所  
147, 149, 151, 157, 160, 162, 165, 317  
七条労働紹介所 164  
失業救済事業 9, 49, 77, 121, 125, 131,  
142～147, 149～151, 153, 156～166,  
168～170, 192, 197, 264, 265, 332,  
368, 369

児童院 →京都市児童院  
児童水泳場 35  
児童相談所 28, 84  
児童保護事業 84, 86, 365  
児童遊園 35, 81, 118  
『社会』 31

社会運動 369, 381

社会課叢書 115, 118～120, 135, 367

社会館 49, 50, 68, 69, 71, 77, 282, 291

社会事業行政 7, 10, 11, 25～30, 32, 34,  
39, 41, 42, 47～49, 54, 66, 71, 76, 79,  
112, 142, 263, 264, 272, 292, 331, 363,  
375

社会事業行政機構 29, 54, 70

社会事業行政職員 113, 114

社会事業施設 9, 27, 29, 30, 34, 35, 39,  
41, 42, 47～50, 52, 54～56, 58～62,  
65, 66, 69～71, 76～79, 81, 85, 86, 92,  
94, 96, 99, 103, 119, 256, 264, 265,  
267, 272, 282, 292, 332, 362～365,  
368, 375

社会事業団体 11, 30, 31, 62, 126

社会事業調査会 303

『社会時報』 31

社会政策審議会 143

社会大衆党 98, 166

社会的マイノリティ  
3, 4, 12, 369, 379, 380, 382

社会民衆党 287

社会民衆党京都支部 282

住宅監督制度 306, 307

就労統制員 164, 169, 368

授産所 55, 68

授産場 166, 167

循環労働制 163, 164, 169, 368

少額給料生活者失業救済事業  
132, 134, 136, 311, 367

小児科 78, 81, 82, 84, 87

職業紹介所 7, 9, 28, 32, 34, 35, 39, 52,  
125, 144, 149～151, 157～160, 165,  
167, 253, 267, 272, 292, 331

植民地近代性論 207

植民地支配 208, 209, 220, 221, 230,  
232～234, 244, 245, 247, 258, 371～  
375

助産婦 94

女中 216, 217, 221～223, 228, 233, 372

新女性 207, 208, 209

親日派 208

親日派新女性 208, 209, 222, 234, 373  
 心理学 84, 98  
 心理学部門 82  
 水平運動 6, 11, 165, 300, 301, 315, 317, 321, 346, 349, 377  
 水平社 165, 180, 265, 287, 288, 291, 293, 300, 331, 376  
 崇仁会 290, 291, 293  
 崇仁学区 266, 275, 276, 279~285, 287~293, 375  
 崇仁学区方面委員会 284, 291  
 崇仁学区方面事業後援会 284~286, 289~291  
 崇仁協清会 288  
 崇仁自治協会 350, 351  
 崇仁青年団 267, 287  
 崇仁託児所 274, 280, 282~284, 292, 375  
 崇仁地区 28, 39, 41, 52, 158, 164, 183, 263, 264, 266, 267, 315, 318, 331, 349  
 崇仁方面会館 291  
 崇仁隣保館 86, 165, 266, 275, 279~281, 289~292, 376  
 生活改善 12, 245, 246, 257, 258, 335  
 生活擁護 302  
 青年自由軍 288  
 政友会 157, 287, 288  
 全関西婦人連合会 214, 224, 230, 232, 233, 371, 372  
 全国水平社 327  
 全国水平社京都府連 287, 288, 315  
 全国水平社田中支部 282  
 全国水平社東七条支部 165, 289  
 全国大衆党 159  
 全国大衆党京都府支部連合会 159  
 全国大衆党京都府連 160  
 全国労働京都府連 160  
 全国労働京都府連合会失業対策委員会 159  
 全国労農大衆党京都府支部連合会 162  
 戦時厚生事業 76~78, 99, 102, 103, 105, 366  
 戦時町内会 293, 334  
 千本労働紹介所 165, 168

相愛会京都支部 254  
 総力戦 14

## た

大衆党 287  
 大正婦人会 347  
 高岸町自治会 345, 346  
 託児所 26, 29, 30, 35, 39, 48, 50, 52, 55, 56, 60, 65, 66, 71, 79, 86, 87, 104, 118, 119, 125, 265, 266, 273~275, 281~283, 290, 292, 293, 342, 364, 365, 375, 376  
 竹田自治組合 343, 345, 346  
 竹田地区 197  
 田中親友夜学校 352, 379  
 田中地区 158, 329  
 地域自治会 379  
 地域住民組織 293, 377, 378  
 地区改良促進期成同盟 316  
 地区整理事業 41  
 知識階級 129, 131, 149, 157, 169, 368  
 地方改善事業 273, 281, 290, 293, 375  
 中央卸売市場 35, 308  
 中央協和会 11  
 中央社会事業協会 11  
 中央授産場 267  
 中央職業紹介所 147, 166, 267  
 中央融和事業協会 11, 335  
 『中外日報』 222, 224  
 中産階級 81, 82, 90, 92, 94, 96, 103, 104, 279, 281, 283, 292, 365, 366, 376  
 朝鮮職業婦人救済会 209, 215, 216, 223, 224, 226, ~228, 230, 232~234, 371~373  
 朝鮮人 4, 143~147, 149, 153, 159, 161~163, 167, 168, 179~185, 187, 188, 191~194, 199, 200, 202, 210, 212, 213, 216~224, 229, 230, 232, 247, 249~253, 255~259, 309, 322, 330, 378  
 朝鮮人協助会 258, 374  
 朝鮮人基督教会 213, 226  
 朝鮮人留学生 210, 211, 232, 246, 248, 257  
 朝鮮青年会 216

朝鮮総督府 131, 208, 220, 247, 251  
 町内会 338  
 朝陽保育園 199  
 トインビーホール 275  
 『東亜日報』 210, 216  
 東亜博愛会 256, 257  
 冬期失業救済事業 156, 169, 368  
 東京市社会局 112, 115  
 同志社公会堂 215  
 同志社女学校 215  
 同志社大学 114, 131, 134, 210, 211, 213, 214, 225  
 東寺託児所 59  
 登録労働者 142～145, 147, 151, 153,  
 156, 157, 160, 162～170, 192, 368, 369  
 同和事業 329  
 同和奉公会 335  
 同和奉公会京都市支会 335, 336  
 同和奉公会京都府支部 335  
 都市下層社会 4, 5, 10～13, 16, 28, 79,  
 142, 146, 153, 179, 187, 213, 214, 220,  
 221, 232～234, 247, 263, 371, 373, 381  
 都市社会行政 6, 8, 9, 12, 16, 25, 76, 112,  
 181, 207, 245, 246, 249, 256, 258, 267,  
 327, 328, 362, 369, 375  
 都市社会行政機構 365  
 都市社会行政職員 272, 292  
 都市社会事業 29, 47～50, 55, 69, 71, 76,  
 77, 79, 126, 135, 180, 264, 267, 269,  
 276, 281, 283, 292, 332, 367  
 都市社会事業行政 25, 27～29, 50, 76, 77, 362, 366  
 都市社会事業行政職員 366  
 都市社会政策 4～11, 14, 15, 25,  
 35, 48, 49, 71, 76, 77, 79, 112, 114,  
 126, 127, 142～144, 170, 180, 181,  
 208, 244～246, 256, 259, 263～266,  
 279, 291, 293, 300～302, 320～322,  
 329, 339, 346, 353, 354, 368～370,  
 373, 375～382  
 都市社会調査 9, 26, 112, 114, 120, 125,  
 126, 131, 135, 181, 366, 367  
 都市スラム 4, 11, 12, 179

都市専門官僚 6, 114, 142, 263, 381  
 都市専門官僚制 5, 7, 8, 10, 16, 77  
 都市融和事業協議会 321, 377  
 トラホーム診療所 26, 35, 39

# な

内鮮協会 227  
 内鮮美術同好会 231  
 内鮮融和 207～209, 214, 221～223, 225,  
 229, 230, 232～234, 246, 247, 250,  
 251, 371～374  
 内鮮融和事業 144, 180, 207, 234, 265  
 内鮮融和政策 6, 10, 11, 15, 380  
 内鮮融和団体 6, 11, 12, 144, 209, 212,  
 219, 231, 232, 244～246, 250, 257,  
 258, 370, 373, 374, 380  
 内務省 69  
 内務省社会局 10, 11, 41, 132, 147, 149,  
 159, 182, 304～309, 320, 377  
 名古屋市社会課 112  
 西三条 69  
 西陣 28, 30, 39, 42, 53～56, 64, 68～  
 70, 121, 128, 131, 135, 146, 147, 149,  
 150, 153, 156～158, 166, 167, 169,  
 170, 187, 213, 228, 232, 247, 331, 362,  
 363, 367～369  
 西陣公益質屋 56  
 西陣託児所 30, 55, 56  
 西陣保育所 68  
 二条保健所 101  
 日中戦争 99, 128, 166, 170, 369  
 日本組合基督教会 208, 211, 212, 214, 225, 232, 246, 370  
 日本聖公会 212, 214, 232, 246, 370  
 日本労働者組合全国協議会(全協)失業同  
 盟 144  
 乳幼児託児事業 101

# は

肺結核療養所 35  
 汎愛扶植会 219  
 東九条 68, 69  
 東三条 56, 58, 69, 193

東三条自治会 342  
 東七条水平社 267, 276, 287, 292, 293, 376  
 東七条青年団 275  
 東七条町政革新同盟 376  
 東本願寺  
   63, 248, 250, 251, 254, 258, 347, 374  
 被差別部落 4, 5, 10~12, 15, 16, 26, 27,  
   39, 41, 42, 47, 52, 54, 56, 59, 70, 76,  
   79, 85, 86, 98, 104, 105, 118, 119, 121,  
   135, 144~146, 153, 158, 164, 166,  
   169, 179~182, 184, 185, 187, 191,  
   192, 202, 203, 264~266, 269, 272~  
   274, 281, 292, 293, 300~302, 308,  
   309, 314, 316, 317, 319 ~ 322,  
   329~334, 337, 346, 353, 362, 363,  
   365, 367~370, 375~378, 380~382  
 日雇労働者 15, 145, 147, 153, 156,  
   158, 161, 220, 257, 274  
 兵庫県内鮮協会 245  
 プール女学校 226, 227  
 府会議員 62  
 深草自治会 343, 346  
 伏見職業紹介所 267  
 府社会課 →京都府社会課  
 婦人会関西連合会 214, 232, 371  
 婦人会関西連合大会 228  
 佛教大学 60, 63, 187  
 部落改善運動 292, 375  
 部落解放全国委員会 348  
 部落解放運動 328~330, 347, 350, 355, 380  
 部落解放全国委員会京都府連錦林支部  
   350  
 部落解放全国委員会京都府連合会  
   329, 347~354, 379  
 部落解放全国委員会京都府連田中支部  
   350, 352  
 部落厚生皇民運動 300, 301, 328  
 部落問題研究所 328  
 不良住宅地区 5, 11, 127, 146, 158, 179,  
   180, 182~185, 187, 192, 196, 197,  
   202, 203, 266, 292, 303~309, 311, 314  
   ~317, 320, 326, 327, 330~335, 339,  
   340, 342, 346, 350, 353, 354, 369, 370,

375, 377, 378  
 不良住宅地区改良事業 179, 180, 301,  
   303, 308, 309, 315, 322, 334, 336 ~  
   338, 346, 353, 377  
 不良住宅地区改良事業計画  
   265, 301, 309, 314, 317, 318, 320, 322, 328  
 不良住宅地区改良法 182, 302~309, 311,  
   318~321, 336, 337, 354, 377~379  
 不良住宅地区調査 181, 182, 202  
 保育事業 366  
 方面委員 27, 31, 32, 41, 49, 50,  
   64~66, 68~70, 77, 90, 94, 104, 144,  
   145, 164, 187, 219, 222, 228, 264, 265,  
   275, 282, 284~286, 289~291, 307,  
   311, 333, 337, 364  
 方面委員会 366  
 方面委員制度 9, 10, 27, 28, 31, 42, 48,  
   49, 52, 66, 69, 71, 79, 142, 263, 264,  
   362, 364, 382  
 方面授産所 291  
 方面主事 39, 94  
 北部労働紹介所 165  
 保健所 78, 101, 102, 105, 366  
 保母 87, 283, 342, 365

## ま

マイノリティ 5~6, 10, 12, 14~16,  
   207~209, 234, 244, 246, 259, 326 ~  
   328, 354, 373, 381  
 マルクス主義 113  
 壬生託児所 248  
 壬生地区 182  
 壬生地区済美会 346  
 民間社会事業 63, 66, 71  
 民政党 287  
 無産階級 159, 279  
 無産者診療所 231  
 無産政党 142, 150, 160~162, 169,  
   263, 265, 282, 287, 288, 293, 368, 376  
 無産婦人団体 229  
 無料宿泊所 35, 52, 249  
 無料診療所 52, 55

や

|       |                                                                                      |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 融和運動  | 12, 267, 291, 292, 375                                                               |
| 融和事業  | 11, 26, 69, 180, 265, 284,<br>300~302, 314, 317~321, 332, 333, 346,<br>353, 377, 378 |
| 融和政策  | 6, 10, 11, 15                                                                        |
| 融和団体  | 6, 11, 12, 264, 293, 315, 328,<br>331, 333, 334, 336, 346, 349, 350, 380             |
| 養正自治会 | 348, 351, 352                                                                        |
| 養正地区  | 59, 87, 165, 183, 315, 316,<br>347, 348, 350, 352, 365, 379                          |
| 養正隣保館 | 347, 352, 379                                                                        |
| 予選体制  | 6, 8                                                                                 |

ら

|           |                                                                                                      |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 楽只自治会     | 342                                                                                                  |
| 楽只託児所     | 215                                                                                                  |
| 楽只地区      | 52, 56, 59, 69, 179, 181, 183,<br>187, 188, 191~193, 196, 200~203,<br>369, 370                       |
| 龍谷大学      | 60, 63                                                                                               |
| 臨済宗大学     | 210, 248                                                                                             |
| 臨時救済団     | 28, 48, 50, 52, 53, 70, 363                                                                          |
| 臨時西陣授産場   | 167                                                                                                  |
| 隣保館       | 26, 49, 79, 87, 274, 280, 281,<br>283, 290, 291, 335, 338, 339, 340, 342,<br>343, 348, 353, 376, 378 |
| 隣保事業      | 26, 48, 49, 69, 100, 180                                                                             |
| 労働紹介所     | 157, 163, 166, 168, 169, 368                                                                         |
| 労農大衆党     | 150, 159, 269, 287                                                                                   |
| 労農同盟      | 150                                                                                                  |
| 六条公益質屋    | 66                                                                                                   |
| 六条保健所     | 101                                                                                                  |
| ロックフェラー財団 | 81, 84                                                                                               |

【人名】

あ

|       |                                                                                                                   |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 青木正太郎 | 134                                                                                                               |
| 青木福三郎 | 346                                                                                                               |
| 秋定嘉和  | 26, 113, 180, 265, 300                                                                                            |
| 浅井清一  | 352                                                                                                               |
| 朝治武   | 11, 327                                                                                                           |
| 朝田善之助 | 165, 166, 287, 289, 317, 328,<br>329, 333~335, 347, 348, 353, 354, 379                                            |
| 浅田朋子  | 167, 185, 244, 245                                                                                                |
| 雨宮昭一  | 326, 354, 379                                                                                                     |
| 荒木欽子  | 228                                                                                                               |
| 安藤狂四郎 | 335                                                                                                               |
| 安藤謙介  | 52, 53                                                                                                            |
| 幾山福三郎 | 128                                                                                                               |
| 池田宏   | 81, 306                                                                                                           |
| 池田敬正  | 25, 76                                                                                                            |
| 石田良三郎 | 128, 129, 131, 132, 134                                                                                           |
| 石垣りん  | 362                                                                                                               |
| 石月静恵  | 208                                                                                                               |
| 磯村英一  | 77, 78, 114, 115                                                                                                  |
| 市村慶三  | 316                                                                                                               |
| 伊藤悦子  | 26, 208, 265, 273                                                                                                 |
| 伊東茂光  | 280                                                                                                               |
| 伊藤之雄  | 8                                                                                                                 |
| 糸岡俊   | 335                                                                                                               |
| 井上梅吉  | 161                                                                                                               |
| 井上和枝  | 208                                                                                                               |
| 井上慶之助 | 348                                                                                                               |
| 井上庄三  | 94                                                                                                                |
| 井林清兵衛 | 274                                                                                                               |
| 岩田正美  | 15                                                                                                                |
| 岩村登志夫 | 144                                                                                                               |
| 上田蟻善  | 150, 161                                                                                                          |
| 卯田惣助  | 163                                                                                                               |
| 梅垣豊   | 68                                                                                                                |
| 梅林信一  | 349                                                                                                               |
| 漆葉見龍  | 26, 39, 42, 82, 84, 96, 102,<br>113, 114, 128, 129, 131, 132, 136, 163,<br>308, 316, 318, 332, 334, 335, 363, 367 |

海野幸徳  
 31, 32, 49, 53~55, 60, 62~65, 70, 71, 363, 364  
 海老名弾正 211  
 大石嘉一郎 3  
 大門正克 14  
 大島巳太郎 316  
 大竹信治 249  
 大谷瑩韶 49, 55, 60~63, 65, 70, 71, 248,  
 250~252, 254, 255, 258, 364, 374  
 大谷尊由 34  
 大西祥恵 15  
 大野伝次郎 64  
 大海原重義 53  
 大森吉五郎 94, 281, 282  
 岡田格五郎 128  
 岡村朝子 352  
 岡本真希子 12, 199  
 小河滋次郎 222, 223  
 奥むめお 223  
 奥村甚之助 150, 157, 158  
 小倉襄二 39, 42, 113~115, 363

か

カーブ 212  
 加賀谷朝蔵 335  
 柏原佐一郎 287, 288  
 加瀬和俊 132, 143, 145  
 金澤誠一 112  
 金澤史男 3  
 川上清 255  
 川口一政 352  
 川端美季 265  
 川端道一 317  
 川原誓鳳 335  
 河明生 181, 187, 196  
 神田兵三 150, 160, 161, 269, 281  
 神戸正雄 340  
 岸田亨 134, 335  
 北原泰作 333  
 北村増一 287  
 木下嘉三郎 97  
 金廣烈 143  
 金公海 208, 209, 212~214, 216~218,

222~228, 230~233, 246, 247, 258,  
 370~374  
 金静美 329  
 金朴春 207~209, 214~219, 222~230,  
 232~234, 247, 258, 371~374  
 金活蘭 208  
 金梅子 208, 228~230, 233, 372  
 日下卯之助 275  
 国枝つとり 86  
 国島泰次郎 99  
 久邇宮恭仁子 100  
 久保つる 208  
 久保元 317  
 熊野喜三郎 288, 291, 334, 349, 350  
 グレゴリー・M・フルーグフェルダー  
 12  
 小泉清次郎 287  
 幸嶋禮吉 304, 305  
 郷原瞭 92  
 小路田泰直 6, 7  
 後藤耕二 145, 161, 180, 181, 191, 196  
 小橋実之助 219  
 小林清一 352  
 小林丈広 5  
 高風京 208  
 駒井栄之助 288, 289

## さ

齋藤実 251  
 佐伯理一郎 216  
 佐賀朝 9, 12, 179, 180  
 坂井俊樹 245  
 阪本清一郎 327  
 桜井良樹 8  
 佐々木向一 131  
 佐々木拓哉 62  
 佐野一男 249  
 佐野佐平 316  
 佐野春雄 345  
 志賀志那人 25, 113, 226  
 重松正史 8, 11  
 芝村篤樹 3, 6, 7, 142, 263  
 渋沢敬三 3

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 松風嘉定   | 53                               |
| 白木正俊   | 26, 113, 145                     |
| 杉山清次   | 348                              |
| 鈴木吉之助  | 62, 157                          |
| 鈴木博    | 245                              |
| 鈴木紋吉   | 273                              |
| 鈴木良    | 11, 266                          |
| 瀬川房次郎  | 287                              |
| 関一     | 6, 7, 16, 25, 113, 142, 231, 263 |
| 関屋延之助  | 249                              |
| 宗田千絵   | 245                              |
| 園原太郎   | 82, 87, 88                       |
| 園部道    | 82                               |
| た      |                                  |
| 高田景    | 161                              |
| 高野昭雄   | 145, 146, 266                    |
| 高橋喜八郎  | 227                              |
| 高松宮    | 100                              |
| 多久安信   | 35                               |
| 武川正吾   | 15                               |
| 武田五一   | 252                              |
| 田崎信蔵   | 35                               |
| タッカー   | 212, 227                         |
| 田寺篤雄   | 82, 87, 100                      |
| 田中源太郎  | 52, 53                           |
| 田中新七   | 273                              |
| 玉井金五   | 7, 9, 15, 25, 76                 |
| 秩父宮    | 99, 100                          |
| 千本秀樹   | 245                              |
| チャップマン | 217                              |
| 鄭富京    | 209                              |
| 塚崎昌之   | 144, 208, 245                    |
| 塚田孝    | 13                               |
| 辻井民之助  | 128, 166                         |
| 辻ミチ子   | 5                                |
| 角木征一   | 144                              |
| 津村栄一   | 276                              |
| 貞明皇太后  | 100, 105, 291, 366               |
| 勅使河原伯秀 | 78                               |
| 寺脇隆夫   | 10                               |
| 銅直勇    | 28, 29, 114                      |
| 土岐嘉平   | 90, 92, 149, 157, 272            |

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 戸田正三  | 79, 119                        |
| 外村大   | 144, 197, 244, 257             |
| 富田清   | 257                            |
| な     |                                |
| 内貴甚三郎 | 50, 52, 53                     |
| 永井良和  | 9, 112                         |
| 永岡正己  | 112                            |
| 長尾正之  | 273                            |
| 中垣昌美  | 64                             |
| 中川喜久  | 272, 317                       |
| 中川清   | 112                            |
| 中瀬惇   | 78                             |
| 中久郎   | 113                            |
| 中村梅次郎 | 287                            |
| 仲村精文  | 329                            |
| 中村三徳  | 223, 226                       |
| 中村庄太郎 | 97                             |
| 中村なお子 | 208                            |
| 中村元   | 145                            |
| 中村寛   | 305                            |
| 中村福治  | 26                             |
| 中村勇太郎 | 287                            |
| 成田龍一  | 3                              |
| 南條茂   | 228                            |
| 西田利八  | 80                             |
| 西林治三吉 | 287                            |
| 西村実三郎 | 227                            |
| 西村元治郎 | 352                            |
| 西村利吉  | 287                            |
| 沼尻晃伸  | 9, 25, 49, 77, 78, 264         |
| 野上俊夫  | 82, 98                         |
| 能川泰治  | 13                             |
| 野口西道  | 334, 335                       |
| 野田興三郎 | 97                             |
| は     |                                |
| 萩崎繁蔵  | 334, 335                       |
| 朴仁徳   | 208                            |
| 朴宣美   | 144, 245                       |
| 橋本尚   | 348                            |
| 浜岡光哲  | 53, 212                        |
| 浜岡正好  | 26, 39, 42, 112, 114, 115, 363 |

早崎真魚 27, 265  
 林市蔵 228  
 林歌子 219  
 早瀬俊夫 352  
 原田敬一 3, 6, 179  
 半谷玉三 150, 160, 161  
 東音次郎 64  
 樋口雄一 245  
 菱野貞次 145, 150, 157, 160~166, 272,  
 281, 282, 287, 288, 291~293, 317, 376  
 平井隆 82, 102  
 深川八朗 131  
 深澤和子 112  
 福島満帆 81, 82, 84, 100, 102  
 藤井高一郎 119  
 藤井権三 128  
 藤岡円治郎 283~286, 289~291  
 藤岡豊三郎 352  
 藤沼庄平 53  
 藤野豊 301, 302, 319, 328, 332, 335  
 藤目ゆき 208  
 藤本喜八郎 222  
 藤本八次郎 228  
 ホーランド 217  
 許光茂 144, 245  
 堀内稔 245  
 堀新之助 316

## ま

前川修 329, 349  
 前田松苗 231  
 前田美根子 213  
 松尾梅松 346  
 松下源三郎 158, 333, 334, 347, 352  
 松下孝昭 6, 9, 27, 145, 264, 266, 276, 287  
 松下平三郎 276, 287~289, 291  
 松島吉之助 335  
 松田利彦 12  
 松塚清三郎 287  
 松永正純 180  
 松永洋一 144  
 馬原鉄男 329  
 馬淵鋭太郎 30, 35, 53, 212

丸木由次郎 347  
 三木一平 347  
 三品重次郎 287  
 水入善三郎 53  
 水内俊雄 3, 15, 301, 304  
 水野直樹 143, 144  
 源川真希 9, 14, 25, 77, 78, 114  
 南英夫 131  
 宮野雄一 303, 304  
 三輪嘉男 300  
 村田武 272  
 森武麿 14  
 森田茂 272  
 森正司 96  
 森梁香 316  
 師岡佑行  
 300~302, 319, 322, 328, 329, 332, 336, 349

## や

柳生為一 334, 335  
 安川和三郎 269  
 安田耕之助 269  
 柳兼子 213  
 柳宗悦 213  
 山縣久子 216  
 山口正 25, 113  
 山崎末一 352  
 山崎隆義 335  
 山崎時次郎 352  
 山下栄吉 350  
 山田三郎 335  
 山之内靖 326  
 山本啓太郎 48, 49, 62, 265  
 山本時治郎 267, 269  
 山本敏貢 328, 329  
 柳一宣 211, 212  
 横井敏郎 3, 26, 112  
 吉岡小次郎 289, 291  
 吉田友彦 181  
 吉田伸之 13  
 吉村辰造 150, 159  
 米田庄太郎 28, 39, 113, 114

|        |          |     |
|--------|----------|-----|
|        | ら        |     |
| リッチモンド |          | 113 |
|        | わ        |     |
| 若林資蔵   |          | 212 |
| 和田清吉   |          | 335 |
| 渡瀬常吉   | 211, 212 |     |
| 和田富子   |          | 229 |
| 渡辺清一   |          | 317 |
| 渡部徹    |          | 144 |
| 渡辺豊次郎  |          | 334 |
| 和田寛    |          | 335 |

◎著者略歴◎

杉本 弘幸 (すぎもと ひろゆき)

1975年12月広島県福山市生。

大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了，博士（文学・大阪大学）。  
日本学術振興会特別研究員，龍谷大学非常勤講師を経て，現在，京都工  
芸繊維大学・佛教大学・立命館大学非常勤講師。

〔主要業績〕

- ・「1940-60年代の都市社会政策と地域住民組織——京都市社会行政と  
「不良住宅地区」対策をめぐる——」（『歴史学研究』824号，2007  
年）
- ・「戦前期都市社会調査における調査活動と社会事業行政職員——京都  
市社会課調査を事例に——」（『大原社会問題研究所雑誌』591号，  
2008年）
- ・「1950年代「京都」における失業対策事業・女性失対労働者・被差別  
部落——戦後都市社会政策とマイノリティをめぐる——」（『日本史  
研究』547号，2008年）
- ・「戦前期都市社会政策と内鮮融和団体の形成と崩壊——京都市におけ  
る内鮮融和団体を事例として——」（『歴史評論』712号，2009年）
- ・「1920-30年代の失業救済事業の地域的展開と「登録労働者」——京都  
市失業救済事業を事例に——」（『年報近現代史研究』4号，2012年）

きんだい に ほん と し しやかいせいさく  
近代日本の都市社会政策とマイノリティ  
——歴史都市の社会史——

2015(平成27)年2月28日発行

定価：本体7,200円(税別)

著 者 杉本弘幸

発行者 田中 大

発行所 株式会社 思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355

電話 075-751-1781(代表)

印 刷 重細重印刷株式会社  
製 本

©H. Sugimoto

ISBN978-4-7842-1789-2 C3036